

旅の図書館が誇る 蔵書のすべて

様々な“研究の種”や観光政策や観光地づくりの“現場に活かすヒント”を見つけてください。

1978年の開設当時より、当館は観光・旅行の専門図書館として、観光に関する様々な図書・資料を収集してきました。2016年10月の移転・リニューアルの際には

- ◎ (公財)日本交通公社の研究本部が所有していた図書や報告書の一体化
- ◎ 独自の図書分類の構築
- ◎ 専門性・希少性の高い蔵書の公開

などを行いながら、「**観光の研究や実務に役立つ図書館**」としてリニューアルオープンしました。今回は、当館が40年をかけて収集してきた蔵書の概要をご紹介します。

「旅の図書館」の歩み

1978年	より文化的、専門的な旅行や観光に関する情報を提供するため「観光文化資料館」として東京駅八重洲口に開設
1999年	名称を「旅の図書館」に改称
2016年10月	港区南青山に移転、リニューアル開館
2017年3月	国連世界観光機関(UNWTO)の寄託図書館に認定(国内で2番目)



1985年当時の「観光文化資料館」



2013年当時の「旅の図書館」

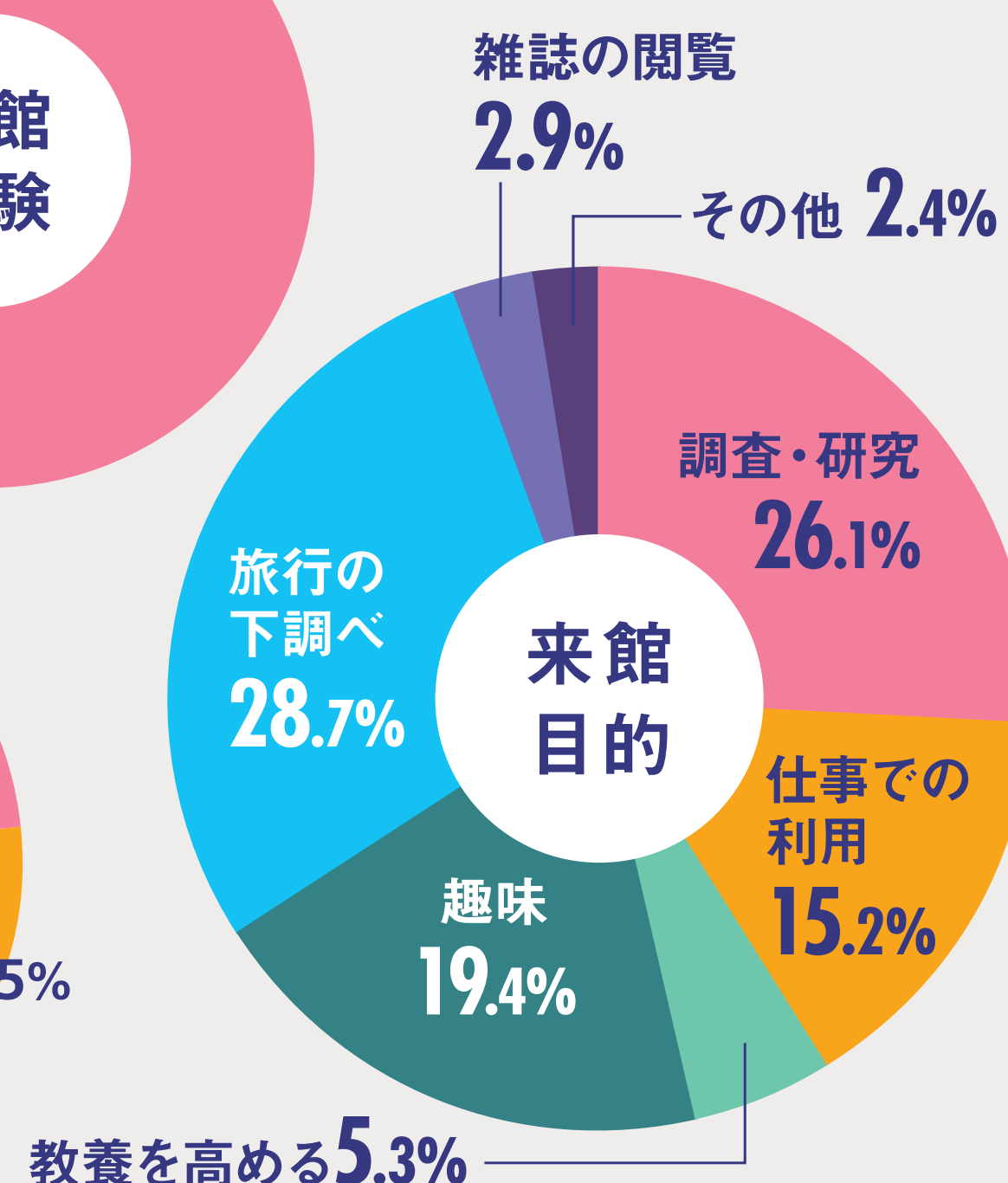
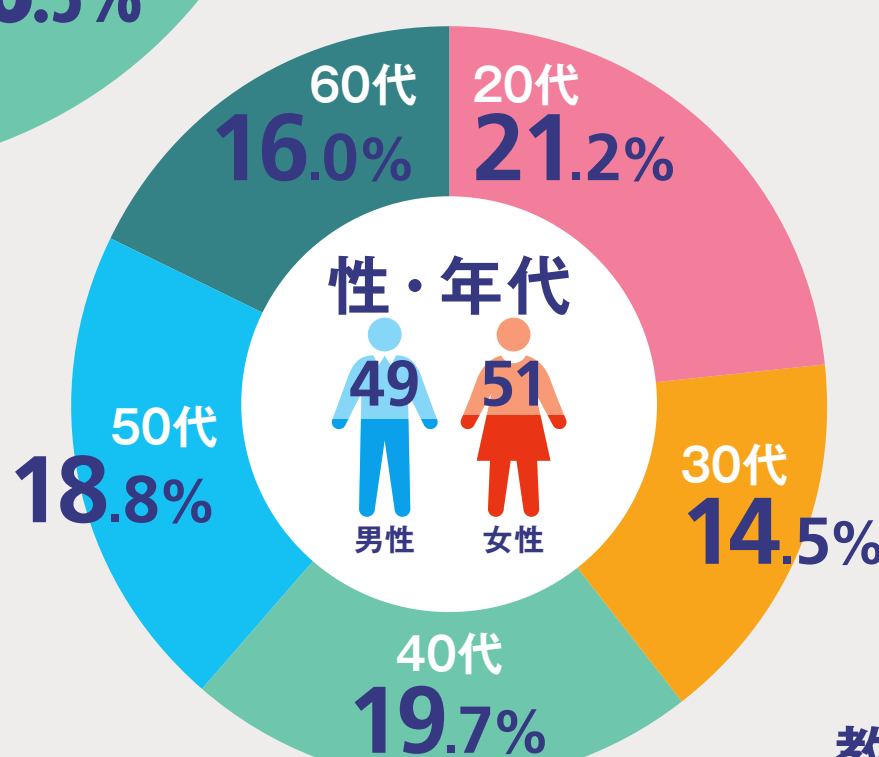
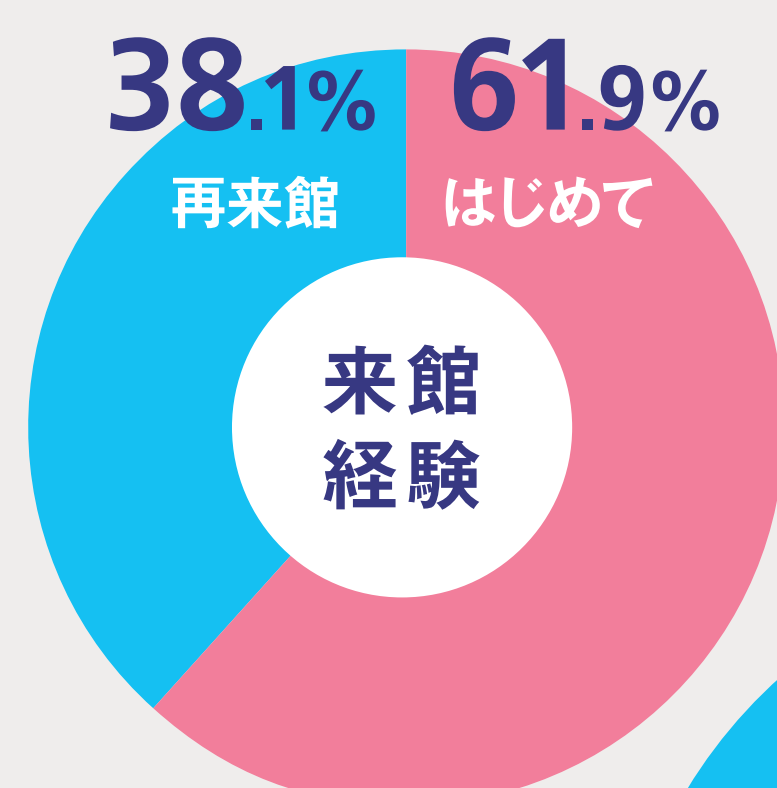
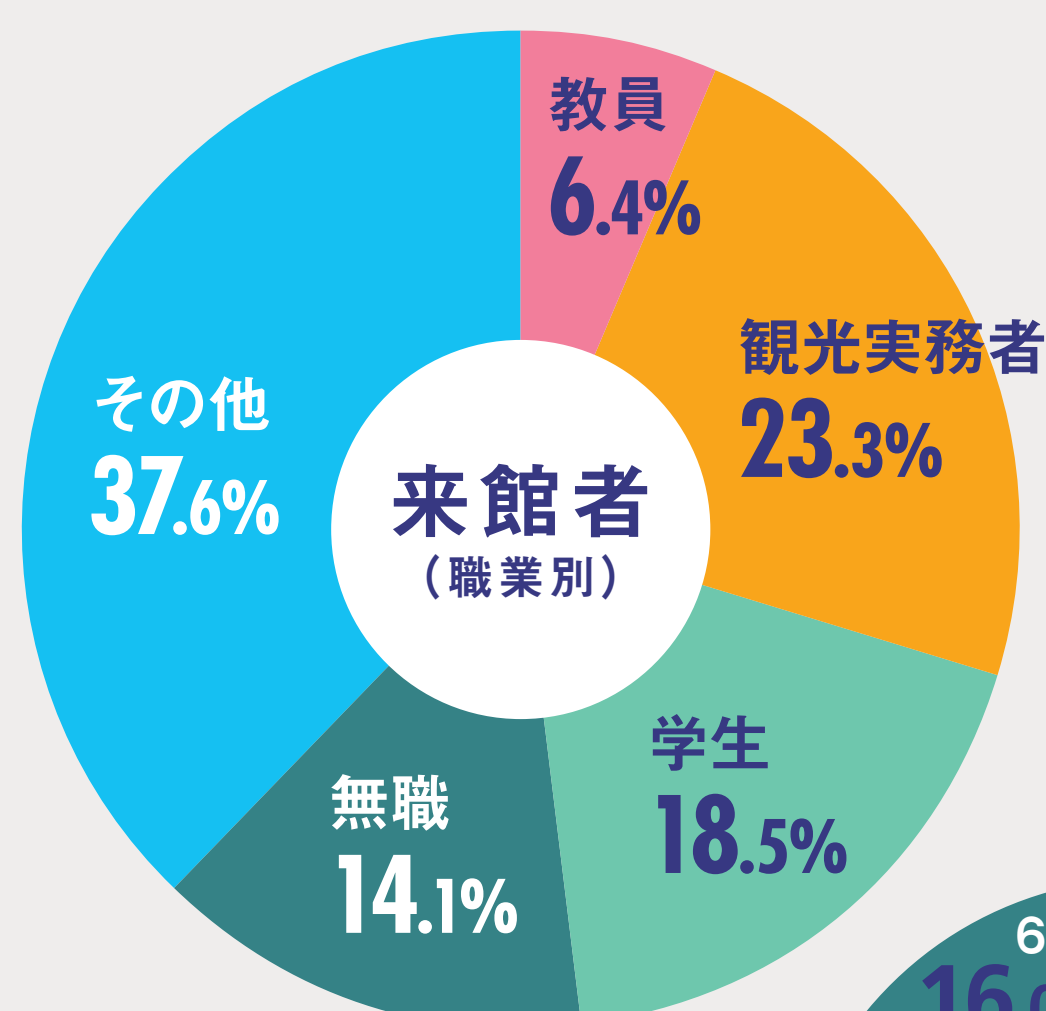
利用者の特徴

※2016年10月～2017年9月

こんな方にオススメ!

観光の研究や実務に携わる方々を中心に、どなたでもご利用いただけます。

- 観光の研究者 (大学教員など)
- 観光を学ぶ学生
- 観光の実務者 (官公庁・自治体、観光関連団体、観光産業、マスコミ・広告・出版など)
- 観光に深い興味をお持ちの方、
- 旅行の下調べをしたい方



蔵書の分類

観光に関わる領域は地理学、民俗学、経済学、農学、哲学、土木工学、心理学など幅広く、そして大変奥深いものです。当館では、独自分類を用いて体系的にわかりやすく配架しています。

収蔵方針

- ◎観光の研究・実務に資する図書・資料を重点的に収蔵。
- ◎旅行及び観光地に関する資料は、最新の情報を得るとともに、過去をさかのぼった調査研究を行う上でのアーカイブ資料としての価値等を考慮し、厳選して収蔵。

独自分類の構築方法

- ◎当館と同程度の収容規模の専門図書館の分類方法を研究
- ◎わが国ではまだ観光学の体系が十分確立されていないことから、国内外の主要な観光学や観光概論に関する図書の目次やキーワードをもとに独自分類を構築。

リニューアル後 **約60,000冊**

観光分野に特化した収蔵資料の特徴に対応するため、以下の3つの分類を導入

- ◎観光研究の専門図書・資料を分類したT (Tourism) 分類
- ◎当財団の特徴的なコレクション資料を分類したF (Foundation) 分類
- ◎旅行・観光の研究の参考となる基礎的文献 NDC分類


観光研究資料 (T分類)		財団コレクション資料 (F分類)		基礎文献 (NDC分類)	
観光研究の専門図書・資料		特徴的な収蔵資料		【対象】観光研究の参考に資する基礎文献	
T0	観光原論・概論	F0	財団 (JTBF) 関係資料	0	総記
T1	観光者・観光活動 (I)	F1	JTB関係資料	1	哲学
T2	観光者・観光活動 (II)	F2	統計・白書	2	歴史
T3	観光地・観光資源 (I)	F3	ガイドブック	3	社会科学
T4	観光地・観光資源 (II)	F4	旅行商品パンフレット	4	自然科学
T5	観光産業	F5	時刻表・機内誌	5	技術・工学
T6	観光計画・開発	F6	古書・貴重資料	6	産業
T7	観光政策	F7	映像・デジタル資料	7	芸術・美術
T8	観光経営・経済	F8	(未定)	8	言語
T9	観光と社会・文化・環境	F9	保存資料	9	文学

※分類名については広義の意味での「観光」を前提とする

閲覧回数の多い資料 BEST10 Ranking

1位 るるぶ (情報版)


閲覧冊数 **290**



著者/出版社: JTBパブリッシング
資料の種類: 雑誌 (バックナンバー)

2位 旅行年報


閲覧冊数 **99**



著者/出版社: (公財)日本交通公社
資料の種類: 観光統計

3位 トラベルジャーナル

閲覧冊数 **53**



著者/出版社: トラベルジャーナル
資料の種類: 雑誌 (バックナンバー)

順位	資料名	著者/出版社	資料の種類	閲覧冊数
4	観光白書	国土交通省 観光庁	観光統計	52
5	ポケットガイド	日本交通公社出版事業局	ガイドブック (バックナンバー)	38
6	新日本ガイド	日本交通公社出版事業局	ガイドブック (バックナンバー)	33
7	日本観光研究学会 全国大会 学術論文集	日本観光研究学会	学術誌	22
7	日本国有鉄道 百年史 (全18巻)	日本国有鉄道	基礎文献	22
7	観光の実態と志向	日本観光振興協会	観光統計	22
10	地球の歩き方	ダイヤモンド・ビッグ社	ガイドブック (バックナンバー)	21

※2016年10月～2017年9月

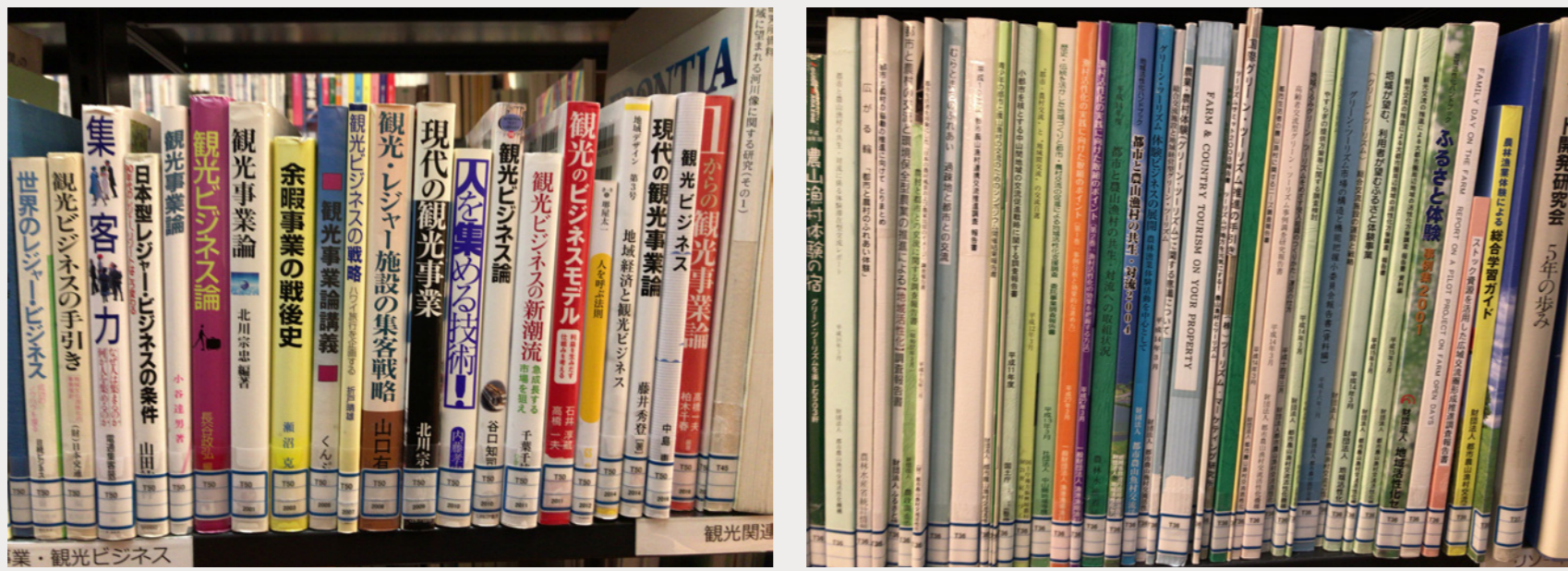
蔵書の特徴

当館にお越しの際に、ぜひご注目いただきたい蔵書をご紹介します。

観光研究資料 (T分類) の特徴

B1F レポートや報告書類も充実

書籍に加え、国や各機関が発行したレポートや報告書なども配架している点が特徴です。当財団が実施した調査の報告書の一部もご覧いただくことができます。



B1F 地域研究資料 (T分類・NDC分類)

国内は県ごとに、海外は国ごとに、各地域の歴史や自然、文化、ケーススタディなどに関する資料を配架しています。



財団コレクション資料 (F分類) の特徴

B1F 観光統計資料

国内外の主要な観光統計をはじめ、旅行業、運輸・交通、宿泊、観光施設など観光に関連する各種統計・白書・年鑑を揃えています。



B1F 学術誌・海外ジャーナル

国内の主要観光関連学会の学術誌や観光関連の学部を有する大学の紀要などを収集しています。観光関連の主要海外ジャーナルは館内の専用端末で閲覧できます。



B1F 国連世界観光機関 (UNWTO) 関連資料

「Yearbook of Tourism Statistics」などの主要統計の他、国際観光の動向が把握できるUNWTOのレポート類を収集しています。



1F B1F ガイドブック

最新の国内外ガイドブックや海外で出版されている日本紹介ガイドブックのほか、古いガイドブックも収集しています。



1F 地域情報誌

観光地で発行されているその地域ならではのディープな魅力を発信する地域情報誌を収集しています。



1F B1F 機内誌

国内及び日本に就航している海外航空会社より寄贈いただいている機内誌(約40誌)を取り揃えています。



B1F

時刻表

最も古い時刻表は1872（明治5）年「品川横浜間鉄道列車出発時刻及び賃金表」。JTB発行の時刻表は1973（昭和48）年1月号以降は全て収集。



B1F

JTB関係資料

当財団を設立母体とする(株)JTBの社史や各種発行物、広報資料などがあります。



B1F

社史

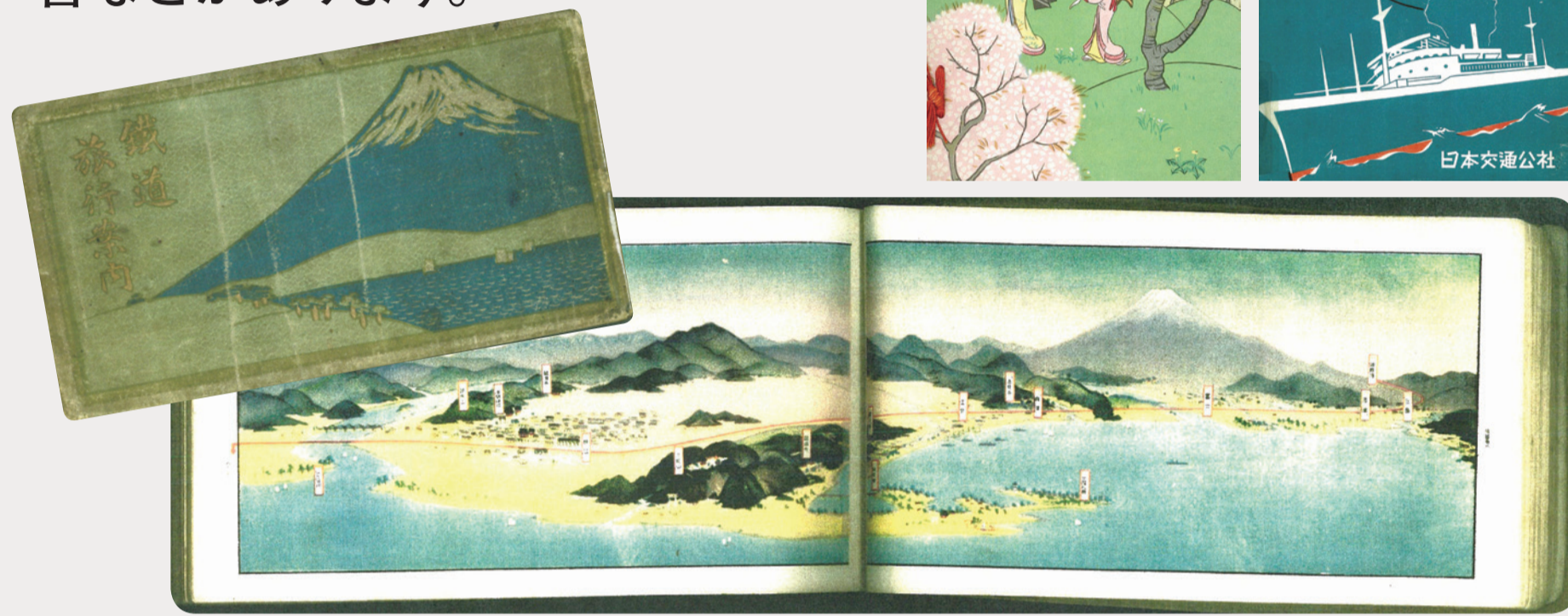
旅行会社や交通事業者、ホテルなど観光関連企業の社史があります。わが国の観光の歴史を知る上で参考になります。



B1F

古書・貴重書

主に戦前のわが国の観光産業や観光政策、観光事業、観光地の状況に関する資料や国内外の旅行案内書などがあります。



『ツーリスト』・『旅』（デジタルコレクション）

ジャパン・ツーリスト・ビューローの雑誌『ツーリスト』（1913年創刊）と、日本で最も長く続いた旅行雑誌『旅』（1924年創刊）を創刊号から所蔵。館内の専用端末にて閲覧できます。



分類		蔵書の概要
F600	観光産業・政策・観光事業	観光産業、観光政策、観光事業、観光論 【蔵書例】『国際観光』『国際観光情報』など
F601	地誌・観光地事情	地理、地誌、風俗風習、地域の全般的な紹介、社会情勢、生活 【蔵書例】『日本名勝地誌』など
F602	ガイドブック・旅行案内	ガイドブック、観光地案内、旅行案内、時刻表 【蔵書例】『Baedeker's Handbook』『Cook's Traveller's Hand book』『日本案内記』『外国旅行案内』など
F603	地図・パンフレット	地図、パンフレットなど
F604	旅行記・エッセイ	紀行、旅行記、エッセイ、旅行雑誌など
F605	文化・芸術	文化、芸術 【蔵書例】『Tourist Library』など
F606	その他	

備考) 分類はF分類 F(6) を第3次区分したのもの

※古い時刻表(1985年以前)につきましては、傷みが激しくなってきましたため、閲覧は研究目的の方に限らせていただきます。

※古書・貴重資料の他、古い時刻表の一部、統計資料の一部は閉架資料です。閲覧申請用紙にご記入の上、スタッフにお申し出ください。

蔵書の奥深さを紹介する企画展示・イベントにも注目!



1F

一度は読みたい
観光研究書&
実務書100冊

観光の研究者や実務者にとって示唆に富んだ本を100冊選んで紹介しています。



1F

古書展示
ギャラリー

観光の歴史とともに古書・貴重書を紹介します。



B1F

ウォール展示

当財団機関誌「観光文化」の特集テーマや連載などに合わせて、関連図書を展示しています。



B1F

たびとしょ
Cafe

ゲストスピーカーをお招きしておこなう気軽な研究交流会です。テーマに関連する蔵書もあわせて展示。(年に4~5回程度実施)